

---

---

GE 2 号炉設置事業に係る

事後調査報告書

---

---

平成 21 年 10 月

株式会社 GE

1. 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

事業者の名称	株式会社 GE
代表者の氏名	代表取締役 國中 賢吉
主たる事務所の所在地	本社・堺臨海事業所総合リサイクルセンター 大阪府堺市西区築港新町一丁 5 番 38

2. 対象事業の名称

GE 2号炉設置事業

3. 対象事業の実施状況

3 - 1. 調査実施日

平成 20 年 12 月 1 日 ~ 平成 21 年 9 月 30 日 ( 2 号炉建設工事中 )

3 - 2. 調査期間の工事の状況

	平成 21 年								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
土木基礎工事 ・ 準備工事 ( 雨水ピット等 ) ・ 杭工事 ・ 掘削工事 ・ 基礎工事	■								
プラント工事 ( 資材搬入 ) ・ 機器設置工事 ・ グラウト・シュート等			■						
試運転 ・ 試験・調整 ・ 試運転									
外構工事 ・ 緑地整備等									

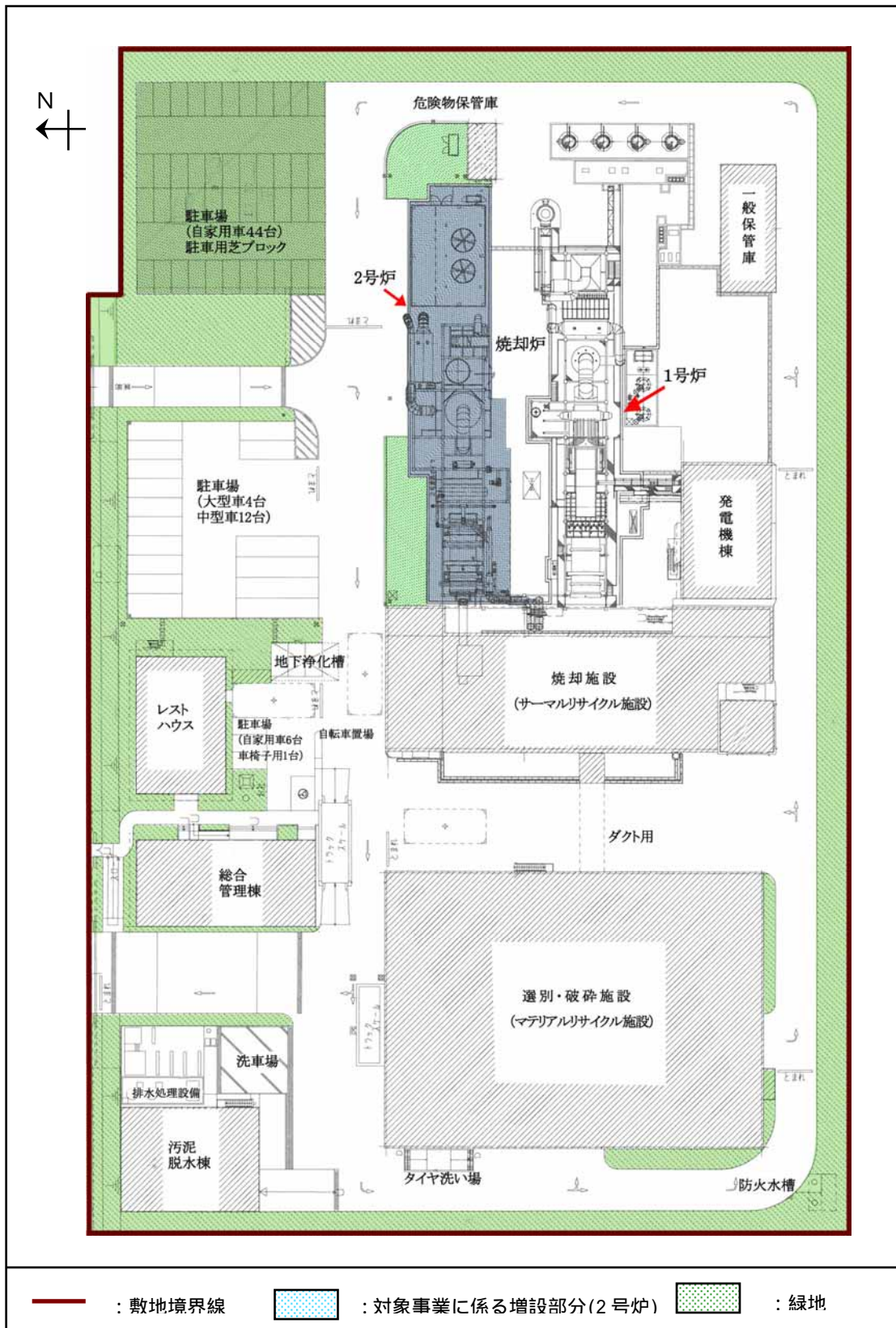


図 - 1 施設配置平面図 (工事区域)

#### 4 . 事後調査の方法

##### 4 - 1 . 調査項目及び内容

事後調査の対象となる項目等は、「GE 2号設置事業に係る環境影響評価書」(平成20年10月)に基づき、実施した。本報告は工事中であるため、調査項目、調査地点、調査時期及び頻度、並びに調査方法は、表 - 1 に示すとおりである。

表 - 1 事後調査の内容 (工事中)

環境影響要素	調査項目	調査地点	調査時期及び頻度	調査の方法	報告時期
廃棄物	発生量 有効利用量 最終処分量 有効利用方法	-	工事期間中 工事中適宜	工事業者が記入する記録票等から、産業廃棄物の種類ごとの発生量、有効利用量、最終処分量、有効利用方法の集計を行う。	工事中2回(平成21年9月末及び工事完了後)
発生土	発生土量 利用土量 所外搬出量	-	工事期間中 工事中適宜	工事業者が記入する日報等の残土輸送車台数から集計を行う。	工事中2回(平成21年9月末及び工事完了後)

#### 5 . 事後調査の結果及び検証

##### 5 - 1 . 廃棄物・発生土

廃棄物・発生土に係る事後調査の結果は、別紙のとおりである。

###### 5-1-1. 廃棄物

調査期間中の廃棄物の調査結果は、別紙に示すとおりである。

主な項目について詳細説明を以下に記す。又、今後も、発生量の低減、有効利用に努めます。

###### ・ 廃プラスチック類

梱包材等のプラスチック類については、グループにて発電用RPF燃料(Refuse Paper&Plastic Fuel)として有効利用を行った。又、一部土砂等の付着の多いプラスチック類については、当社でサマシクル原料として有効利用を行った。

###### ・ 紙くず

梱包材等の紙類については、製紙原料として有効利用を行った。一部土砂等の付着の多い紙類については、当社でサマシクル原料として有効利用を行った。

###### ・ 木くず

梱包材等の木くずについては、グループ内にて、バイオ燃料原料やサマシクル原料として有効利用を行った。

又、草木類については当社にて、サマシクル原料として有効利用を行った。

- ・ ガスくず

ガスくずの内、再生利用可能な石膏ボードについては、グループ内にて有効利用を行った。  
又、再生不可能な石膏ボード及びガスくずについては、やむを得ず最終処分となった。

- ・ がれき類

路盤材として、有効利用を行った。

- ・ 金属くず

製鋼原料として、有効利用を行った。

#### 5-1-2. 発生土

調査期間中の発生土の調査結果は、別紙 に示すとおりである。

計画当初全て、当社及びグループ内にて有効利用する計画としていましたが、当社は元々埋め立て地であったことから、含水率の高い土が一部発生したため、やむを得ず最終処分としました。

以上

別紙

廃棄物に係る事後調査結果（工事中）

（単位：t）

廃棄物の種類	事後調査結果 (20年12月～21年9月)					事後調査結果 ( 年 月～ 年 月)				
	発生量	処理方法	有効利用量	有効利用方法	最終処分量	発生量	処理方法	有効利用量	有効利用方法	最終処分量
汚泥	0.0	-	-	-	-					
廃酸・廃アルカリ	0.0	-	-	-	-					
廃プラスチック類	1.5	選別	1.5	燃料化	0.0					
金属くず	1.3	選別	1.3	製鋼原料	0.0					
ガラス・陶磁器くず	10.2	選別	2.2	路盤材	8.0					
がれき類	80.6	選別	80.6	路盤材	0.0					
紙くず	3.0	選別	3.0	製紙原料	0.0					
木くず	20.1	選別	20.1	燃料化	0.0					
繊維くず	0.0	-	-	-	-					
合計	116.8		108.7		8.0					

注)廃棄物量は、2号炉建設工事に伴い発生したものに限る。

発生土に係る事後調査結果（工事中）

（単位：m<sup>3</sup>）

		事後調査結果 (20年12月～21年9月)	事後調査結果 ( 年 月～ 年 月)
発生土量		5,003	
利用土量		329	
所外 搬出量	有効利用量	3,839	
	処分量	835	

以上